

地盤調査

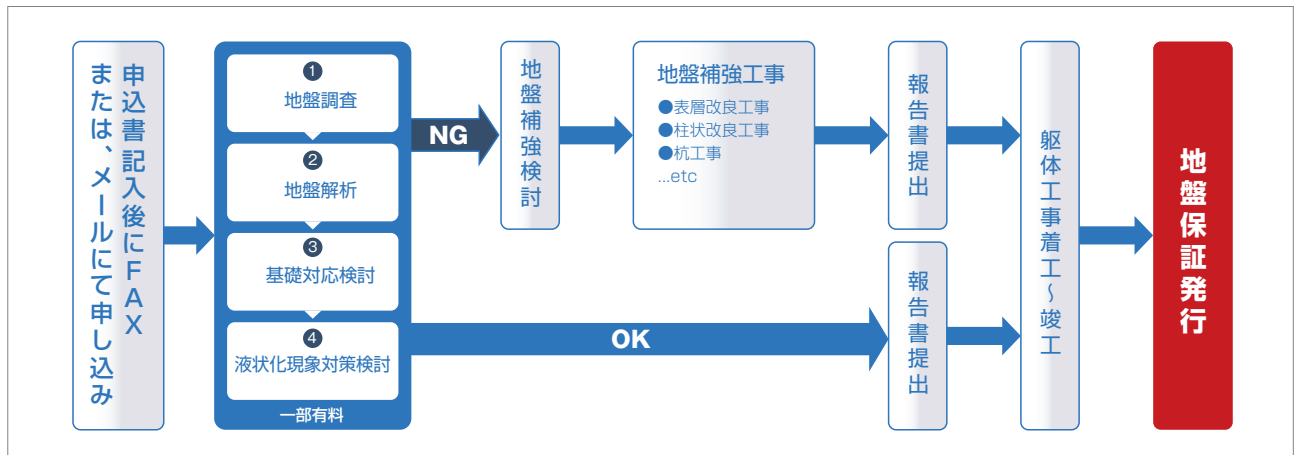
プロの調査技術で全国幅広く対応

▶地盤調査機+近隣データ調査+施工方法検討、三位一体が地盤調査の主役

どんなに丈夫な構造の家でも地盤が傾いてしまえば意味がありません。

地盤はその土地、その地域の地質や土層によって様々です。一つの限られた調査方法とその調査結果だけでは結局無駄な調査と改良工事となってしまいます。Triasは調査結果だけで判断せず近隣のデータや様々な調査機器と調査方法で検討します。

地盤調査申し込みからの流れ



地盤調査機器と調査方法

<p>SS試験</p>  <p>スウェーデン式サウンディング試験</p> <p>メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ●試験方法が比較的簡便である。 ●試験結果をN値に換算出来る。 ●深度毎に連続してデータがとれる。 ●調査費用が安い。 	<p>標準貫入試験</p>  <p>標準貫入試験</p> <p>メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ●N値から地盤の強度を推定できる。 ●地下水位の確認ができる。 ●土層の種類・判別、確認ができる。 ●調査結果の信頼性が高い。 	<p>表面探査機</p>  <p>表面波探査機</p> <p>メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ●広い範囲を迅速かつ安価に調査できる ●支持層・基盤層の深度確認できる ●地盤改良後の確認に最適 	 <p>近隣ボーリングデータ</p> <p>メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地盤特性の把握 ●地下水位の確認
---	---	---	--

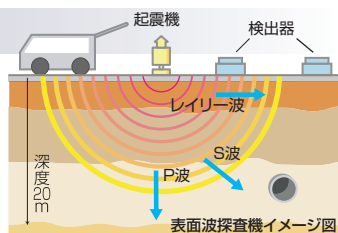
不同沈下の心配が無い地盤を的確に判断するTriasの地盤調査は、無駄な軟弱地盤対策工事の比率を低くするので経済的です。

スウェーデン式サウンディング試験

現在では戸建住宅向けの地盤調査のほとんどがこの試験によって実施されています。比較的簡単に試験が行え試験結果を地耐力を示すN値に換算する事ができます。また深度毎に連続してデータがとれ、調査費用が安いことから広く普及しています。

表面波探査

地表付近を伝わる表面波(レイリー波)測定・解析することにより深度20m程度までの地盤の特性を断面的に画像化することができます。



標準貫入試験

標準貫入試験は、地盤の硬軟や締めり具合の指標となるN値を求めるとともに、試料を採取するための試験方法です。

ドライブハンマーを、自由落下させて、ノッキングブロックを打撃し、ボーリングロッドに付いている標準貫入試験用サンブラーを地盤に30cm打ち込むのに要する打撃回数を調べます。

